市民関係部課長会議　会議録

１　日　時　平成２８年７月５日（火）１３時３０分
２　場　所　愛知県自治センター４階大会議室
３　当番市　知多市
４　出席者　愛知県　総務部市町村課　課長補佐　田中宏之　始め４名
　　市　名古屋市住民課長　伊藤一朗　始め４２名
　　市長会事務局　行政係長　西本康一　始め３名
５　内　容
(1)　開　　会　　市長会事務局　財政係長　神谷直子

(2)　あいさつ　愛知県総務部市町村課　課長補佐　田中宏之

本日お集まりの皆様におかれましては、住民基本台帳や戸籍の事務など住民に最も身近なところで業務に尽力されており、特に昨年１０月からのマイナンバー法の施行に伴いまして、住民の方々への対応等様々なご苦労があることと存じます。まずは感謝申し上げたいと思います。

今回の会議の議題として、マイナンバーカードの交付のことについて挙げておられますので、そのことについてお話しさせていただきます。

まず１点目は、県内市町村におけるマイナンバーカードの交付状況でございます。県内の交付申請件数は６月末時点で約６３万件です。交付件数は約３７万枚でありまして、申請件数に対する交付枚数の割合は約５８％となっております。全国平均が５３％でございますので、これを上回っているという状況でございます。まさしく皆様方のご尽力の賜物だと思っております。

次に、マイナンバーカードの交付促進に向けた取り組みの状況ですが、マイナンバーカードの交付にはカードの事前設定だとか交付通知書の発送など事務手続きが非常に多いという事もありますし、１月以降カード管理システム等に障害が発生しまして、カード交付が滞っている状況でございます。先ほど申しましたとおり交付件数は申請件数の６割弱にとどまっています。この状況を打開するということで総務省から通知がございましたが、各種の取り組みが行われているところです。総務省においては全国の自治体の効率的な実施体制の事例を紹介したマイナンバーカード交付促進マニュアルを作成して市町村の皆様方を支援しているところでございます。

また、市町村の皆様にはマイナンバー交付計画を作成いただきました。県内市町村では、５月末までに申請のあったカードについては遅くとも８

月までには滞留は解消するという結果になっております。
　各市町村においてはカード交付を促進するために様々な取り組みをしていただいております。中でも土日開庁をしている所の実績が高いことから、総務省においては土日開庁の実施を働きかけているところでございます。各市には様々な事情があると思いますが、ぜひ検討いただければと思います。
　本日の会議におきましては４つの議題すべてがマイナンバーに関するものでございます。この後、これらの議題について活発な意見交換を通じて現場の最前線におられます皆様方の参考になりますよう期待しております。

(3)　議長選出
　　知多市（市民生活部市民窓口課長）　渡真利　浩

(4)　議　　題
①コンビニ交付導入状況について
・提案市の蒲郡市より(1)～(4)までの趣旨説明と現状を説明

各市発言内容
議長　：各市の状況については、市長会事務局で取りまとめていただいた資料がお手元にございますので、各市の対応等についてご意見、ご質問がある方はお願いします。
　まず、平成２４年１０月に県下で初めてコンビニ交付を導入された一宮市さん、メリット、デメリット等教えていただければと思います。
一宮市：メリットとしては、コンビニ交付が進むと窓口の来客が減少することです。デメリットは特にないと思っております。
安城市：今年度にコンビニ交付の導入を予定していますが、印鑑登録証明書については、市の窓口では印鑑登録証で交付する考えでいます。しかし、瀬戸市さんが資料１に書かれているように、市の窓口でも印鑑登録証を持参せずにマイナンバーカードで印鑑登録証明書を交付できるように市役所内にキヨスク端末を設置すべきではないかという話も出ています。価格が高いことから財政サイドはいい顔はしない状況です。条例等改正により、市の窓口でもマイナンバーカードだけで印鑑登録証明書を交付できるよう検討している所があればお話を伺いたい。

豊田市：窓受けシステムを、今年１０月のコンビニ交付導入と同時に入れて対応しようと計画していた。認証方式がＪＰＫＩにすぐ変わるだろうという情報だったが遅れているということで、窓受けシステムが１０月からは導入できないことが確認された。そのため、市の窓口では、マイナンバーカードでは印鑑登録証明書を交付できない状態となる。上司からは、その状態はおかしいと指摘されている。対応策として、印鑑登録をされている本人が、マイナンバーカードを市の窓口にお持ちいただいた時には印鑑登録証明書を交付できるよう条例改正をしようと検討している。

西尾市：コンビニにあるマルチコピー機を市役所や公共施設に設置予定の自治体があれば教えてほしい。

コンビニ交付を２９年２月から導入するため準備しているが、コンビニにマイナンバーカードの置き忘れとか生じているかも教えていただきたい。それが理由に申請書の開示請求が発生していないかどうかも教えてほしい。

　証明が何件ぐらい発行されているか教えてほしい。

議　長：マルチコピー機設置予定ありますか。　豊田市さんですか。

置き忘れがあった市があれば教えてください。

ないということですね、それでは、それに伴う開示請求もなしということですね。

証明の発行状況は、各々市へ帰らないとわからないと思いますので、提供できる情報のあるところは、後ほど、西尾市さんへお知らせください。

知立市：ゼロックスの窓受けシステムの導入を豊田市さんは止めるということですか。

豊田市：まだ結論は出ていません。

東海市：今年１月１８日からコンビニ交付を導入していて、証明書は６００枚程度出ている。また、窓受けシステムを２台入れる予算を付けている。

国や県からカードは一本化して欲しいという意見を聞いたが、代理人が他人のマイナンバーカードを持ってきて印鑑証明書の請求をしたときには対応できないという判断で、カードは２枚にしている。

窓受けシステムは、現在、コンビニ交付を受ける際の体験用にモニターとして使ってもらっている。ゼロックスからは、国

が本年中に何とかＪＰＫＩ方式をとってくれると言っているので、そのうちには、マイナンバーカードを使って窓受けシステムで証明交付ができると聞いている。

大府市：資料に記載したよりも早まり、２９年１０月にコンビニ交付の稼働を予定している。非本籍人の戸籍も出せるようにと考えている。
料金設定はこれまでと同額と考えていたが、かなりの費用をかけてコンビニ交付を始めるので手数料を上げる考えはないかと質問を受けている。手数料を上げる検討をしている所があれば教えていただきたい。
ないようですね。

岡崎市：コンビニ交付導入前と後で、マイナンバーカードの交付に影響があったかどうか教えていただきたい。また、ＰＲにどんな事をされたかも教えていただきたい。

議　長：知多市ではマイナンバーカードの交付と同時にコンビニ交付も始めているので影響はわかりません。

東海市：東海市もカード交付とコンビニ交付を同時に始めているので影響はありません。
ＰＲとして、市内に５０店舗以上あるコンビニ全てへ、のぼりを持って行った。あとポスター、チラシ。公共施設にも、のぼりを立てた。

愛知県：（議題①に対するコメント）
特にありませんが、利便性の向上、マイナンバーカードの普及促進につながりますので引き続きご尽力くだされればと思います。

②やむえない事情を有する方への個人番号カードの交付について

・提案市である岡崎市から趣旨説明と状況を説明

各市発言内容

議　長：実際に特別な事情に対応をされたという市はありますか。

瀬戸市：資料２に記載しておりますが、施設に入所または重い病状で外出困難な場合、職員がその現地に出向いて本人確認をしている。後日、代理人に本人の保険証、年金手帳、通知カード等を持参していただき、本人委任のもと職員による

暗証番号の設定後、代理人にマイナンバーカードを交付しています。その場合に病院の診断書等が必要になる場合があります。実績としては自宅が６件、施設が３件です。

豊田市：豊田市の場合は、出かけて行って、その場で本人確認を行い、本人へ交付しています。

議　長：代理受領の場合は必ず１点本人の顔写真付の書類がないと渡せないので、職員が出かけて行って本人に渡す対応をしているということですね。

議　長：やむえない事情を要領等で基準を設けている所はあるでしょうか。ある自治体は挙手をお願いしたい。
どちらの市も設けていないということですね。

愛知県：(議題②に対するコメント)
マイナンバーカードの代理人への交付のケースですけれど、ご存じの通り、マイナンバー法施行令１３条３項の３号、施行規則の１６条、事務処理要領に規定されている通り交付申請者の写真付の身分証明書の提示が必要になるということです。総務省に確認しましたけれど、なりすましを防止するため例外なく必要ということでございます。交付申請者の写真付身分証明書が提示できない場合は、何らかの方法で直接ご本人に交付していただくしか方法がないので、大変苦慮していただいていると思います。マイナンバーカードは年金とか雇用保険の受給など多くの場面で本人確認に活用されるもので、なりすましにより取得された場合は大きな被害につながるということもございますので、的確な本人確認をお願いしたいと考えております

③個人番号カードの取り扱いについて

・提案市の北名古屋市より(1)および(2)の趣旨説明

補足事項

・(1)は機構から受付が不能となっているという情報提供があった場合どうしているかという趣旨です。

・(2)について、北名古屋市では区画整理前の住所で通知書が送られてしまったケースが１００件ほどあり、それを市が修正したところ申請書のＩＤが変わってしまい、修正前の通知書で申請をされた方々の受付ができなくなった事例が

ある。申請者からは、申請書は自分の個人情報だ、写真も付けて送った。返せと強く要望されたが。機構からは返されることはないため、北名古屋市では申請者の所へ出向いて、写真も撮ってあげて申請書を機構へ送付もし、出来上がって来たカードも書留で本人へ届けるという対応をした。他市でも、このようなケースがあった場合どのように対応しているか教えていただきたい。

各市発言内容

議　長：まず(1)の場合の対応　知多市では、機構で受付できませんでしたと書いて、申請者に手紙でお知らせしています。他市も同じような状況ということでよろしいか。
名古屋市にお聞きするのですが、資料３で可能な限り申請書を返却していただいていると記載されていますが、これは可能なのですか。

名古屋市：機構に確認したところ、受付１か月で廃棄すると聞いておりまして、原則返却されないので申請者の方にはあきらめるようお勧めするのですが、２件ほど返していただいたケースがあります。

北名古屋市：名古屋市で２例、申請書を返してもらった事例が有るということですが、北名古屋市でも相当粘り強く機構と交渉したが返してもらえなかった。申請者は強く憤慨して対応が非常に難しくなるので、機構の方でも対策を考えていただいて、受付が不能となっている申請書は申請者の手元へ返って来るように、県の方からも要望していただきたい。

愛知県：(議題③に対するコメント)
機構で受付できなかった申請書を返してもらえないということで、大変苦慮されていることと思いますが、(1)の方については、まず申請いただいたご本人に電話連絡や案内文、チラシ等を郵送して連絡を取っていただいて、申請の受付ができなかったことの説明をしていただいて、そのうえで再交付を依頼していただくことが必要です。
(2)は市町村の過失ということでございますので、住民の方からすれば、なぜ返してもらえないんだと言うのは、ごもっともな意見でございますので、現状、申請書は返戻され

ないことを丁寧に説明していただき、できれば再申請まで案内していただくことになりますけれども、県としても若干不合理を感じますので、ＪＲＩＳなり総務省を通じて、要望はして行きたいと思います。

議　長：強く要望していただきたいと思います。

④個人番号カードの交付状況等について

・提案市の名古屋市より(1)および(2)の趣旨説明
各市で独自に取り組まれている個人番号カードの普及促進策を教えていていただきたい。

各市発言内容

豊橋市：着ぐるみを総務省から借りて、豊橋祭りが１０月の中旬からありますので、そこでＰＲしたい。子どもが集まる施設でも試行的にＰＲしていこうと考えています。

名古屋市：出前講座をしていらっしゃる碧南市さん、豊田市さん、北名古屋市さんに出前講座で実施された内容とその場で個人番号カードの交付申請を受け付けたかを伺いたい。

碧南市：出前講座のメニューとしてはあるが、実際には実施していません。

豊田市：自治区、自治会、老人クラブ等を中心に声掛けをして、５人以上の集まりから要望があれば、出かけて行って講座を行っています。市長から詐欺に注意といったことを必ず入れよと注文が出ておりますので、その部分を強調した内容としております。番号制度そのものの仕組みとカードのメリットを伝えています。勤務地に行って申請を受けるといった対応ができるように委託料を組んでいたが、全く要望がなかったので、それを振りかえて講座を実施しています。カードの交付申請をその場で受けることはしていません。

北名古屋市：２件依頼があり１件実施しています。３０人程度の婦人会のような団体からの依頼でしたので、制度の概要と言葉の意味、カードの使い道を説明しました。

大府市：証明書の写真機、そこから直接個人番号カードの申請ができます、というものが有ります。それを庁舎の中とか近くに置くと効果があると独自の調査で出ています。これを導

入したいと思っています。長久手市が資料４に証明写真機の設置(予定)と書かれているのは大府市と同じ考えかなと思います。

議　長：すでに導入している所、予定があるところがあれば挙手を願います。
東海市、蒲郡市、豊田市、岡崎市、名古屋市ですか。ちなみに知多市も導入を考えています。
次に(2)の①申請時来庁方式について、資料４を見ると半田市、豊田市、稲沢市に実績があるようですので、説明をお願いします。

半田市：資料 4 に記載した通りです。積極的に案内はしていないが個別に問い合わせがあれば受ける状況です。

豊田市：同様です。本庁のみで実施しています。

稲沢市：同様です。窓口に申請書類を全部整えてみえた方で、申請している間に通知カードを使わないことを確認して受付しています。

議　長：今後予定している所はありますか。　無いようですね。
では、次に(2)の②勤務地等経由申請方式について、現在のところ実績があるのは岡崎市だけですが状況を説明していただけますか。

岡崎市：昨年度中に２カ所の事業所へ、１カ所は２日、もう１カ所は１日、職員が出向いて実施した実績がある。職員の人数の都合で、大規模事業所はお断りすることにしています。

田原市：予算はとったが実績はない。トヨタの田原工場等企業から要望があったら対応できるようしている。

名古屋市：岡崎市が実際にやられたということなのでお聞きしますが、様々な手間があると思うのですが、そのあたりはどうだったのでしょうか。また、やろうと思ったキッカケは何だったのでしょうか。

岡崎市：会社の事務室等を使って実施したと聞いております。ひとつの事業所が２名×２日、もう一つが２名×１日、職員を出しています。何時から何時までの間に会場へ来てくださいという案内を出して実施したが、結構時間が空いてしまうことがあったと聞いております。この二つの事業所に関しては、説明会を通じて相談があったと聞いております。詳しいことはわかりません。

名古屋市：カードの普及促進について国の方針が見えなくて、今は滞留しているカードを配れということだが、また、カードの交付申請を促すためのキャンペーンなどが行われると思います。国のＰＲ効果は大きいので、その時期が見えないと窓口体制の不安要素が消えない。そのあたりの情報があれば、県の方に教えていただきたい。

愛知県：（議題４全体に対するコメント）
県としての促進事業としては、啓発用ポスター、リーフレットの配布、ホームページそれから広報あいちへの掲載がございます。依頼があった場合は講演をさせていただいております。あと、国からおそらく広報啓発物、ポスター等の配布依頼があると思いますので、引き続きご協力お願いしたいと思います。

(5)　その他

東海市：議題１について、県からコメントがほとんどなかったものですから、場違いかもしれませんが、県へ要望します。市の窓口でマイナンバーカードを使って窓受けシステムで証明書が取れるようにするため、ＪＰＫＩ方式を窓受けシステム等でで早急に使えるように国や機構に申し上げていただきたい。

岡崎市：マイナンバーカードを交付する際に、申請時に電子証明書を不要としていた人が交付時に希望した場合、逆にやはりいらないとなった場合、国からの事務処理要領の様式で変更届、失効申請をもらっているのか独自様式で対応しているのかお聞きしたい。
独自の様式で間に合わせているところ豊田市、岡崎市

日進市：会計検査が去年１２月ぐらいに行われたとか、今年も５月を中心に行われたとうわさを聞くが、実際に会計検査を受けられた市があれば状況をお聞きしたい。

愛知県：前任者から去年１１月、１２月頃に県内のいくつかの市まちでマイナンバーカードについてだけの会計検査ではなく、いろいろな項目の一つとして、マイナンバーカードに絡んだものがあったと聞いております。

東海市：受けましたけれど、マイナンバーに関する補助金についてはほとんど質問はなかったです。今年度以降が主体になるので

はないかと思います。

蒲群市：同じです。

議　長：知多市も同じです。

(6)　次年度当番市について

知立市に決定（市制施行順による）

(7)　閉　　会　　市長会事務局　財政係長　神谷直子